



7月 歩路だより



梅雨が明けからの暑さが厳しい毎日です。歩路では、5月に植えたピーマンやミニトマトの苗が大きく育ち実をつけました。天気が良い日には、子どもたちと水かけを行い「大きくなったね」「花が咲いてるよ」などと野菜の成長を楽しみに観察しています。

自分たちで育てた野菜を収穫することで、食に対する関心を高めていき、好き嫌いをなく食事をとることができるようにしたいと思います。ご家庭でも、子どもたちと野菜を育ててみるのもいいですね。

7がつ

げつ	か	すい	もく	きん
				1 おえかき
4 かだいあそび	5 せいさく	6 ひなんくんれん	7 たんじょうびかい	8 うんどうあそび
11 せいかつあそび	12 みずあそび	13 さんぽ	14 かんしよくあそび	15 くらすこうりゆう
18 うみのひ	19 おんがくあそび	20 どろあそび	21 くつきんぐ	22 せいかつあそび
25 おんがくあそび	26 おえかき	27 かだいあそび	28 かんしよくあそび	29 みずあそび

※活動内容は、諸事情により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

《臨床発達心理士》松本先生：7月1～3日、5～7日、11日、13～15日、19日、21日、25日、27日、29日

《言語聴覚士(ST)》二宮先生：4日、12日、22日、25日

《理学療法士(PT)》福山先生：5日、11日、20日、29日

おしらせ

○水遊びが始まります。水遊び当日は、ご家庭での検温をしっかりとこない、水遊び用の汚れても良い衣類や下着をご準備ください。また、目・耳・皮膚などの病気は、早めに治療をお願いします。

○母親懇親会が7月9日に予定されています。詳細については参加される保護者の方に後日配布致しますのでご確認ください。

職員通信 今月の担当は、サフチーフ 岩松昌和です。



7月も近づき、蒸し暑い日が続いておりますが、保護者の皆様におかれましても体調を崩されていないでしょうか。この季節につきましては、夏バテや熱中症等体調を崩しやすい時期でもありますので、室内外の気温差や細めな水分補給、汗の後始末等子ども達の体調管理の面においても十分に注意していきたいと思えます。

さて今回は、子ども達の様子について少しだけお伝えさせていただきます。4月当初は保護者の皆様と離れることや歩路に来ることへの不安も強い様子が見られていましたが、職員と一緒に過ごす時間を通して、段々と歩路に来ることへの見通しや期待を持って登園することができてきているのかなと感じているところです。また、遊び方についても、職員から離れることができなかつた子どもたちが玩具を使って自分の遊びに取り組んだり、一人遊びが主であった子どもが友だちを意識して遊ぶ様子などが見られ、遊び方一つをとっても変わってきているなと思えます。今後も子どもたちに楽しんでもらえるようないろいろな遊びを設定し、遊びを通してさまざまなことを伝えていけるように努めていきたいと思えます。

最後になりましたが、私自身まだまだ足りないところも数多くあり、保護者の皆様にご心配・ご迷惑をおかけすることもあると思えますが、子どもたちにとって楽しい遊びや安心して過ごせる環境を提供できるように努めていきたいと思えますので、今後とも宜しくお願い致します。

専門職通信 今回の担当は、言語聴覚士 二宮 佳美です。



発音のはっきりしない時や、発語の育ちがゆっくりめな時の家庭での工夫

発音は、体全体の動きと一緒に育つと言われております。ことばを言うには、呼吸をはじめ、体全体が上手に動くことが第一とも言われます。発達と共に体の動きがなめらかになってくると、舌とか唇の筋肉を細かく調整して動かせる様にもなりやすいです。この時期が発達段階で5～6歳の頃になります。発音で言うと、サ行やラ行が言えるようになったり、発音が完成する発達段階になります。そのため、発達段階に応じて、体全体を使ったり、手先を使う楽しい遊びを出来るだけさせて、発達段階をを少しずつ積み上げることが望ましいです。それが発音のための良い土台を築いていくこととなります。

そのような土台を育てながら、家庭で発音する器官を育てる方法は以下の通りです。

- ① よく噛む。(左右の歯を使って)
- ② 吹く。
 - ・お風呂にピンポン玉を浮かべて吹く。
 - ・ラッパや風車を吹く。ストローでシャボン玉を作る。
 - ・飲み物や汁物を冷ますときに吹く。(やけどに注意して下さい)
- ③ なめる。
 - ・ソフトクリームやぺろぺろキャンディーをなめる。
 - ・口の周りに付けたジャム等をなめる。
- ④ ベロ遊び
 - ・にらめっこ等で舌や口を動かして遊ぶ。

生活の一場面で思い出し、やってみて頂けるとよいと思えます。

次に関わり方ですが、大人が発音の良い見本になることです。大人がゆっくり、はっきり、聞き取りやすい、まねしやすい発音で話しましょう。

無理のない範囲で、日常生活に取り入れて頂けるとありがたいです。